文字入力

「区点コード一覧」は、付属のCD-ROM内の「区点コード一覧」(PDF形式)をご覧ください。
PDF版「区点コード一覧」をご覧になるには、Adobe® Reader®が必要です。お使いのパソコンにインストールされていない場合は、付属のCD-ROM内のAdobe® Reader®をインストールしてご覧ください。
ご使用方法などの詳細につきましては、「Adobe Readerヘルプ」をご覧ください。

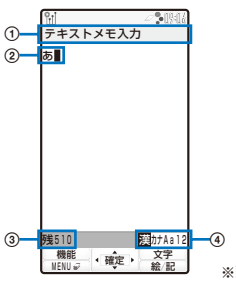
文字入力について 400
かな入力方式で文字を入力する 401
定型文を入力する 403
絵文字・記号を入力する 403
定型文を修正/登録する ..... 〈定型文編集〉 404
電話帳などを引用して入力する 404
文字の切取・コピーと貼付 405
区点コードで入力する ..... 〈区点コード入力〉 405
よく使う語句を登録する ..... 〈単語登録〉 406
学習情報を初期状態に戻す ..... 〈学習情報リセット〉 406
ダウンロードした辞書を使用する ..... 〈ダウンロード辞書〉 407
2タッチ入力方式で文字を入力する ..... 〈2タッチ入力〉 407

文字入力について

文字入力の概要を説明します。

- 文字の入力方式として、[かな入力]と[2タッチ入力]の2種類から選択できます。
- 入力できる漢字はJIS第一水準、第二水準などあわせて6,355文字です。
- 複雑な漢字は一部変形もしくは省略しています。

■文字入力画面の見かた



※画面はイメージです。

①文字入力中の機能名が表示されます。

②入力した文字が表示されます。

③入力可能な文字のバイト数が表示されます。半角文字は1バイト、全角文字は2バイトになります。SMS本文の場合は文字数が表示されます。メール作成中は、入力可能な文字数を超えると「−(マイナス)」が表示されます。また、「約」が表示されることがあります。

④文字モード/絵文字・記号モードが表示されます。

- 編集する項目によって入力できる文字モード/絵文字・記号モードは異なります。

かな入力方式

文字モード	
半　角	全　角
[漢]：漢字・ひらがな※	[漢]：漢字・ひらがな
[カ]：半角カタカナ	[カ]：全角カタカナ
[Aa]：半角英字	[A]：全角英字
[12]：半角数字	[1]：全角数字

※「漢字・ひらがなモード」は、半角に設定している場合でも全角になります。

2タッチ入力方式

文字モード	
半　角	全　角
[半大]：半角大文字	[全大]：全角大文字
[半小]：半角小文字	[全小]：全角小文字

かな入力方式・2タッチ入力方式共通

絵文字・記号モード			
ランキング	絵文字	絵文字D※	記号

※絵文字Dは、メール本文入力画面、テンプレート編集画面、署名編集画面でのみ入力できるデコメ®絵文字です。ただし、デコメ®アニメには使用できません。

■文字モード/絵文字・記号モードを切り替える

文字モード「半角」の場合

かな入力方式の場合は、[i]（文字）を押すたびに[漢]→[カ]→[Aa]→[12]の順に切り替わります。2タッチ入力方式の場合は、[i]（文字）を押すたびに[半大]⟷[半小]が切り替わります。

文字モード「全角」の場合

かな入力方式の場合は、[i]（文字）を押すたびに[漢]→[カ]→[A]→[1]の順に切り替わります。2タッチ入力方式の場合は、[i]（文字）を押すたびに[全大]⟷[全小]が切り替わります。

絵文字・記号モードの場合

[ch]（絵/記）を押すたびに[ランキング]→[絵文字]→[絵文字D]→[記号]の順に切り替わります。

■全角/半角を切り替える

機能メニュー[全角/半角切替]を選択します。

■同じボタンに割り当てられた文字を連続して入力する

かな入力方式の場合、文字を入力したあとで[▶]を押すか、少し待つとカーソルが自動的に移動します。(P.403)

■直前に入力した文字を続けて入力する（つづけて入力）

ひらがなを入力したあと、またはカーソルが自動移動したあとで[▶]を2回押します。

■文字を削除する

削除する文字にカーソルをあわせ、CLR を押します。

- CLR を短く押すと、カーソル位置の文字が削除されます。カーソルが文末にあるときは、最後の文字が削除されます。
- CLR を1秒以上押すと、カーソル以降の文字がすべて削除されます。カーソルが文末にあるときは、すべての文字が削除されます。

■文字を挿入する

挿入する場所にカーソルをあわせ、入力します。カーソル以降の文字は、挿入した文字の後ろに移動します。

■文節の区切りを変更する

目的の漢字に変換できないときは、変換の範囲を変更します。◀ ▶ でカーソルを動かすと、カーソル位置に応じて表示される語句候補リスト/変換候補が変わります。

■元に戻す

操作を間違えたときは、機能メニュー［元に戻す］を選択すると、最後の操作を無効にして1つ前の状態に復旧できます。

- ［元に戻す］でやり直せるのは、次の操作です。
  - 入力文字の確定(■)
  - ［元に戻す］
  - 定型文入力
  - 絵文字/記号入力
  - 区点コード入力(P.405)
  - 切取、貼付(P.405)
  - 文字の削除(CLR)
  - 電話帳やマイデータなどの引用(P.404)

かな入力方式で文字を入力する

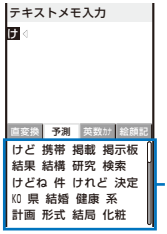
予測変換を使って入力する

例：「健闘」と入力する場合

1 文字入力画面で文字モードを確認する

「漢字・ひらがなモード」になっているのを確認します。

2 2 を4回押す



最初の文字「け」が入力され、予測される語句候補がリスト表示されます。

前の文字に戻る場合

ボタンを押し過ぎて目的の文字を行き過ぎてしまったときは、# を押します。1回押すごとに1つ前の文字に戻ります。

3 0 を3回、4 を5回押す

「んと」が入力され、予測される語句候補がリスト表示されます。

一時的に予測変換をOFFにする場合

ch（通常変換）を押すと、通常変換による変換候補が表示されます。

語句候補リストを切り替える場合

(タブ ›)を押します。(タブ ›)を押すたびに、英数カナ→絵顔記→直変換→予測の順に語句候補リストが切り替わります。

4 ▼ を押す

語句候補リストにカーソルが移動します。

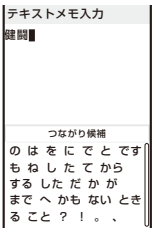
予測変換の語句候補リストの候補を削除する場合

ch（候補削除）を押し、［はい］を選択します。

- お買い上げ時に登録されている語句候補など一部の候補は、削除できないことがあります。

次ページにつづく

5 [▲][▼][◀][▶] で[健闘]を選び [■] を押す



「健闘」が入力されます。語句候補リストには、「健闘」の続きとして予測される語句が表示されます。

6 [CLR] を押す

語句候補リストが閉じ、「健闘」が確定します。

- 語句候補リストには、入力文字に濁点・半濁点をつけたり、「っ」などの小文字にしたときの変換候補も表示されます。
- 語句候補リストから選択した語句は、次から語句候補リストに優先的に表示されます。
- 一度に多くの文字を入力すると、語句候補リストに候補が表示されず、「◆変換」が表示されます。[▼] を押すと、通常変換の候補が表示されます。語句を選択すると、次から語句候補リストに表示されます。
- メール本文入力画面や署名編集画面で語句候補リストから色付き候補を選ぶとデコメール®になります。(P.188)

予測変換を使わずに入力する

予測変換機能を利用しないで入力します。

例：「健闘」と入力する場合

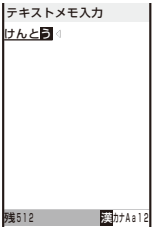
1 予測変換を[OFF]に切り替える

- 変換方法を切り替える(P.402)と同じ操作を行ってください。

2 文字入力画面で文字モードを確認する

「漢字・ひらがなモード」になっているのを確認します。

3 文字を入力する



[2] ×4回…「け」
[0] ×3回…「ん」
[4] ×5回…「と」
[1] ×3回…「う」

4 [▼] を押す

「けんとう」から変換される語句候補がリスト表示されます。

確定する場合

[■]（選択）を押します。

5 [▼] を押す

語句候補リストにカーソルが移動します。

6 [健闘]を選び [■] を押す

「健闘」が確定します。

変換を中止する場合

[✉]（中止）を押します。

変換方法を切り替える

文字モードが「漢字・ひらがなモード」のときに予測変換機能を利用するかどうかを設定します。

1 メニューで[設定]→[アプリケーション設定]→[文字入力設定]→[予測変換]を選び [■] を押す

[ON]：
予測変換を利用します。文字を入力すると、その文字から予測される語句が、語句候補リストに表示されます。FOMA端末が「先読み」してくれる変換方法です。

[OFF]:
語句のよみをすべて入力してから変換します。

2 [ON]/[OFF]を選び ■ を押す

変換方法が切り替わります。

● 文字入力画面で変換方法を切り替える場合は、機能メニュー[文字入力設定]→[予測変換]を選択します。

語句候補リストのカーソルの移動方法を設定する

語句候補リストでのカーソルの移動方法を選択します。

1 メニューで[設定]→[アプリケーション設定]→[文字入力設定]→[候補内キー操作]を選び ■ を押す

[上下左右キー操作]:
▲▼◀▶で上下左右にカーソルが移動します。

[上下キー操作]:
▲▼で左右にカーソルが移動します。

2 カーソルの移動方法を選び ■ を押す

候補内キー操作が設定されます。

カーソルの自動移動を設定する

かな入力方式で文字入力後、カーソルが自動的に移動するまでの時間を設定します。

1 メニューで[設定]→[アプリケーション設定]→[文字入力設定]→[カーソル自動移動]を選び ■ を押す

2 カーソルが自動的に移動するまでの時間を選び ■ を押す

[1～5]から選択します。

カーソルを自動的に移動させない場合
[OFF]を選択します。

定型文を入力する

定型文についてはP.455をご覧ください。

- 編集する項目によって入力できる定型文は異なります。入力できないカテゴリは、選択できません。

1 文字入力画面で ✉ (機能)を押す

機能メニューが表示されます。

2 [定型文入力]→カテゴリ→定型文を選び ■ を押す

選択した定型文が入力されます。

定型文を確認する場合
定型文にカーソルをあわせ、ⓘ(確認)を押します。

絵文字・記号を入力する

入力した絵文字・記号は入力回数順に絵/記ランキングに表示され、文字入力時に選択できます。
絵文字と記号についてはP.452、453をご覧ください。

1 文字入力画面で ch (絵/記)を押す

ch (絵/記)を押すたびに絵文字・記号モードが[ランキング]→[絵文字]→[絵文字D]→[記号]の順に切り替わります。

2 ch (絵/記)を押し、絵文字を選び ■ を押す

画面の上部に、選択した絵文字が表示されます。次の絵文字を選択するときは、目的の絵文字にカーソルをあわせ、■を押します。

すべての絵文字の選択を解除する場合

CLRを1秒以上押します。

3 ✉(閉じる)を押す

選択した絵文字がまとめて入力されます。

- メール本文入力画面、テンプレート編集画面、署名編集画面では、選択した絵文字はその都度入力されます。✉(閉じる)を押すと、絵文字・記号モードを終了します。
- 絵文字Dは、メール本文入力画面、テンプレート編集画面、署名編集画面でのみ入力できます。ただし、デコメ®アニメには使用できません。(P.188)絵文字Dを入力すると、デコメール®になります。(P.185)

定型文を修正/登録する

〈定型文編集〉

お買い上げ時に登録されている定型文を、用途にあわせて修正したり、新規に登録したりすることができます。定型文についてはP.455をご覧ください。

例：「インターネット」に登録されている「.co.jp」を修正する場合

1 メニューで[設定]→[アプリケーション設定]→[文字入力設定]→[定型文編集]を選び■を押す

定型文編集画面が表示されます。

2 [インターネット]→[.co.jp]を選び■を押す

定型文をお買い上げ時の状態に戻す場合

定型文にカーソルをあわせ、機能メニュー[リセット]→[1件リセット]→[はい]を選択します。カテゴリ内の定型文をすべて元に戻す場合は、機能メニュー[リセット]→[カテゴリ内リセット]を選択し、端末暗証番号を入力して[はい]を選択します。すべての定型文を元に戻す場合は、定型文編集画面で📱(全件リセット)を押し、端末暗証番号を入力して[はい]を選択します。

定型文を削除する場合

定型文にカーソルをあわせ、機能メニュー[1件削除]→[はい]を選択します。

3 📱(修正)を押し、修正する

全角64文字、半角128文字以内で入力します。

定型文が修正されます。

電話帳などを引用して入力する

メールの本文やサイトなどの文字入力画面で、電話帳や電話番号表示(マイデータ)の登録内容、バーコードリーダーで読み取った文字を引用して入力できます。

例：電話帳から引用する場合

1 文字入力画面で✉(機能)を押す

機能メニューが表示されます。

2 [電話帳引用]を選び■を押す

電話帳が表示されます。

電話番号表示を引用する場合

[マイデータ引用]を選択します。

バーコードリーダーを利用して文字を引用する場合

[バーコードリーダー]を選択します。

3 名前→引用する内容を選び■を押す

選択した内容が文字入力画面に入力されます。

- 選択した項目の文字数が、入力できる文字数を超える場合、超えた文字は削除されます。

文字の切取・コピーと貼付

入力済みの文字を切取ったり、コピーしたりして、別の入力画面に貼付けることができます。
切取/コピーした文字は、クリップボードに保存されます。貼付を行うと、このクリップボードの文字が貼付けられます。クリップボードの内容は、何回でも貼付けることができます。

- クリップボードとは、切取/コピーした文字を保存するメモリ領域のことです。保存できるのは1件のみで、新しく切取/コピーすると上書きされます。
- クリップボードの文字は、電源を切ると削除されます。
- 貼付を行う際、貼付先の画面に入力できない文字は、半角スペースに置き換えられます。また、入力できる文字数を超える場合は、超えた文字は削除されます。
- 絵文字Dやデコメール®の本文中に挿入された画像の切取/コピー、貼付はできません。

■切取機能

選択した文字を切取って、クリップボードに保存します。(選択した文字は、元の画面から削除されます)

機能メニュー	内　容
切取	選択した文字を切取ります。

■コピー機能

選択した文字をコピーして、クリップボードに保存します。(選択した文字は、元の画面から削除されません)

機能メニュー	内　容
コピー	選択した文字をコピーします。
電話番号コピー	電話番号をコピーします。
項目コピー	電話番号やメールアドレスなどを項目単位でコピーします。
テキストメモコピー	テキストメモの内容をコピーします。

■貼付機能

クリップボードの文字を貼付けます。

機能メニュー	内　容
貼付	コピー/切取した内容を貼付けます。

文字をコピー/切取する

1 文字入力画面で ✉(機能)を押す

機能メニューが表示されます。

2 [コピー]を選び ■ を押す

切取する場合

[切取]を選択します。

3 コピーの始点を選び ■ を押す

コピーする最初の文字が確定します。

すべての文字を選択する場合

i(全選択)を押します。

4 コピーの終点を選び ■ を押す

コピーする範囲が確定し、クリップボードに保存されます。

文字を貼付する

1 文字入力画面で貼付ける位置を選び ✉(機能)を押す

機能メニューが表示されます。

2 [貼付]を選び ■ を押す

コピー/切取した内容が貼付けられます。

区点コードで入力する

〈区点コード入力〉

区点コード一覧表にある文字・数字・記号を4桁の区点コードを使って入力できます。

- 区点コードについては、付属のCD-ROM内の「区点コード一覧」(PDF形式)をご覧ください。

1 文字入力画面で ✉(機能)を押す

機能メニューが表示されます。

2 [区点コード入力]を選び ■ を押す

次ページにつづく

3 区点コードを入力する

入力した区点コードに対応する文字が入力されます。

よく使う語句を登録する

〈単語登録〉

よく使う語句をあらかじめ辞書に登録できます。登録した語句は、文字変換のときに語句候補リスト/変換候補に優先的に表示されます。300件まで登録できます。

1 メニューで[設定]→[アプリケーション設定]→[文字入力設定]→[辞書編集]を選び ■ を押す

辞書画面が表示されます。

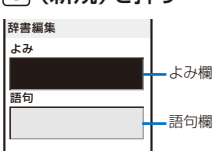
語句を削除する場合

語句にカーソルをあわせ、機能メニュー[1件削除]→[はい]を選択します。複数選択して削除する場合は、機能メニュー[選択削除]を選択し、語句を複数選択して ⓘ (完了)を押し、[はい]を選択します。すべての語句を削除する場合は、機能メニュー[全件削除]を選択し、端末暗証番号を入力して[はい]を選択します。

語句を編集する場合

語句にカーソルをあわせ、■ を押します。

2 ⓘ (新規)を押す



3 よみ欄によみを入力する

ひらがなで28文字以内で入力します。

4 語句欄に語句を入力する

全角28文字、半角56文字以内で入力します。

5 ⓘ (完了)を押す

入力した語句が辞書に登録されます。

学習情報を初期状態に戻す

〈学習情報リセット〉

FOMA端末の辞書には学習機能があります。学習機能とは、語句の使用頻度などを記憶しておき、よく使う語句を語句候補リスト/変換候補に優先表示する機能のことです。

SO906iは、従来の学習機能に加えて、予測変換された語句と続けて入力されたつながり候補の組み合わせを学習する「つながり学習」や、入力後に語尾が修正された語句を学習する「しゃべり語学習」に対応しています。

学習情報をリセットすると、この優先順位がお買い上げ時の状態に戻ります。

1 メニューで[設定]→[アプリケーション設定]→[文字入力設定]→[学習情報リセット]を選び ■ を押す

端末暗証番号入力画面が表示されます。

2 端末暗証番号を入力し、■ (OK)を押す

リセット確認画面が表示されます。

3 [はい]を選び ■ を押す

学習情報がリセットされます。

ダウンロードした辞書を使用する 〈ダウンロード辞書〉

iモードから辞書を20件までダウンロードして使用できます。ダウンロードした辞書を有効にすると、その辞書に登録されている語句が語句候補リストに表示されます。

1 メニューで[設定]→[アプリケーション設定]→[文字入力設定]→[ダウンロード辞書設定]を選び ■ を押す

詳細情報を表示する場合
辞書にカーソルをあわせ、機能メニュー[辞書情報表示]を選択します。

名前を変更する場合
辞書にカーソルをあわせ、機能メニュー[辞書名編集]を選択します。全角8文字、半角17文字以内で入力します。

辞書を削除する場合
辞書にカーソルをあわせ、機能メニュー[削除]→[1件削除]→[はい]を選択します。複数選択して削除する場合は、機能メニュー[削除]→[選択削除]を選択し、辞書を複数選択して i (完了)を押し、[はい]を選択します。すべての辞書を削除する場合は、機能メニュー[削除]→[全件削除]を選択し、端末暗証番号を入力して[はい]を選択します。

2 辞書を選び ■ (設定)を押す

有効/無効設定画面が表示されます。

3 [有効]/[無効]を選び ■ を押す

[有効]に設定すると、辞書が有効になり、「■」(グレー)が「■」(緑)に変わります。

- 有効にした辞書が多い場合、すべての語句が語句候補リストに表示されないことがあります。
- 辞書は「PlayNow by SO」からダウンロードできます。
  [i Menu]→[メニューリスト]→[ケータイ電話メーカー]→[PlayNow by SO]

ダウンロードした辞書を並べ替える

ダウンロードした辞書が複数ある場合は、辞書の並び順を替えて、よく使う辞書の語句を優先的に表示できます。

1 辞書フォルダ画面で ✉ (機能)を押す

機能メニューが表示されます。

2 [並べ替え]を選び ■ を押す

3 辞書を選び ■ を押す

並べ替え画面が表示されます。

4 移動先を選び ■ (移動先)を押す

5 i (完了)を押す

検索の優先順位が設定されます。

2タッチ入力方式で文字を入力する 〈2タッチ入力〉

入力モードを切り替える

文字の入力方法を、2桁の数字を入力してひらがなを入力できる2タッチ入力方式に切り替えます。

1 メニューで[設定]→[アプリケーション設定]→[文字入力設定]→[入力方式]を選び ■ を押す

2 [2タッチ入力]を選び ■ を押す

かな入力方式に切り替える場合
[かな入力]を選択します。

次ページにつづく

文字を入力する

2桁の数字を入力して、割り当てられているひらがなを1文字ずつ入力します。

- 2タッチ入力方式の文字割り当てについては P.451をご覧ください。

例：「けんとう」と入力する場合

1 入力モードを[2タッチ入力]に切り替える

- 入力モードを切り替える(P.407)と同じ操作を行ってください。

2 文字入力画面で文字モードを確認する

「全角大文字モード」になっているのを確認します。

3 2 を押し、4 を押す

「け」が入力されます。

4 0 を押し、3 を押す

「ん」が入力されます。

5 4 を押し、5 を押す

「と」が入力されます。

6 1 を押し、3 を押す

「う」が入力されます。